

二部地区活性化だより

野上町の風

発行
二部地区活性化推進機構編集
総務部会

事務局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二部公民館内
TEL・FAX 0859-62-7159

地域と共に

巨大かるた大会

二部梁山泊事務主任 西村康平

国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」の助成を受け、平成二十八年十一月から計三回のかかるた制作イベントを実施してきました。第三回目となる巨大かるた大会では、二部地区内外から約八〇名の参加をいただき、参加延べ人数では一三〇名に上ります。参加および協力していただいた方にはこの場をお借りお礼申し上げます。

さてこのイベントでは、三つのテーマを持って取り組みました。三つのテーマとは、一、地域の人を「知る」二、地域の歴史を「学ぶ」三、「遊ぶ」です。かるた作りを通じて、これら三つのテーマを達成することで、二部地区に住む子どもたちに二部地区に対する「誇り」を醸成していこうとするものでした。

残念ながら、一回目及び二回目の「イベントでは広報不足から大人の方の参加が少なく一つ目のテーマを十分に達成することができませんでした。しかしながら、子どもたちの参加は予想を上回り、私たちのつたない説明をもとに地域の歴史などを学んでもらえたと思います。

メインイベントであるかるた取り大会では、絵札の解説を織り交ぜながら楽しいイベントを開催することができました。参加者からは「二部地区のことを知ることができた」や「初めて知った」などの声をいただくことができました。

また、当日は南葉商店、つくしの会、焼肉さわ、そば切り和助などの協賛を得ることで参加者の皆さんのお腹を満たすこともできました。

今後も、二部地区活性化推進機構と連携を図りながらイベントを実施していきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

平成28年度 各 部 会 活 動 報 告

総務部会

部会長 足澤 秀基

平成二十八年度から総務部会では二部地区活性化推進機構の情報発信と、地域のみなさんとの情報共有を図ることを目指し活動しています。二つには、本会広報「野上川の風」でのイベント情報、活動の考えなど地域のみなさんに関心を持っていただける広報紙面を作成したいと考えています。そのためには、当機構に対する意見、要望などを聴取することも必要です。今年度は十分な紙面作りとなりませんでした。来年度はみなさんからの投稿もぜひお願いしたいものです。

二つ目は、先進地視察研修を実施しました。日南町を十一月二十八日に訪問し、空き家対策の調査実態を研究しました。

IJターンの状況はかなりむずかしいとのことでした。それでも受け入れ対応は必要であります。廃屋化した空き家でも所有者の意向は大切です。その修繕対応調査も重要です。地域の情報収集方法も行政ではなく、地域力やその寛容性が大切であるとのことでした。

本町もお試し住宅を整備され、利用家族も有ったと聞いていますが、永住となるには様々な問題も生じることでしよう。

二部地域は中山間地なので、生活の場が生産の場であり、複雑な面も多くあります。

コミュニティを大切にする空き家対策を目指さなければならぬと感じます。このことについてみなさんのアイデアをいただきたいと思っています。



健康スポーツ部会

部会長 舟越 康夫

日頃より健康スポーツ部会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。前部長の意向をひきつぎ前年度の内容とは同じ内容になりましたが、たくさんの方々に参加いただき大変うれしく思っております。部会員の皆様と部会で協議を重ねながら楽しく体を動かせる内容ができました。

六月には、賀舞ダム周辺で健康ウォーキングを開催いたしました。仲間同士でおしゃべりしながらダムを一周し、お昼には野菜の天ぷらを揚げて楽しく食事をしました。

七月には、二部体育館にてカローリング大会を開催しました。誰にでもできるスポーツなので年々参加者も増えてきたようです。来年度は2回の開催ができたと思います。

九月には、ささふく水辺公園にてグラウンドゴルフ大会を開催しました。見聞がよいと見えますが、なかなか奥が深いスポーツなので初心者から上級者まで誰もが楽しめる競技です。多数のご参加をお待ちしております。

十月には、町民運動会二部地区大会の協力として、各チーム内において積極的に競技に出場したり、選手召集の補助などを目標に参加しました。

いずれにしても、野外行事が多い部会なので天候が非常に気になるところではありますが二部地区の皆さんの元気と笑顔で晴れてくれるのではないかと信じております。

スポーツ部会は、皆様参加型の部会ですので、子供さんからお年寄りまで多数ご参加いただき、二十九年度も楽しい行事を実施してまいりますので、よろしくお願ひいたします。



産業振興部会

部会長 金田 宏

平成二十八年度産業振興部会の活動実施内容を報告いたします。

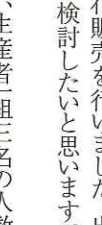


一、農産物等の集荷支援について

四月下旬から五月下旬に、松下食品へタケノコを出荷しました。今年度二部地区では豊作であり、六名の方により七日間で二五八キロ出荷することが出来ました。その他野菜等の農産物においても、夏場に二名の方により東亜青果へ出荷できました。

二、盆花、農産物販売について

八月十一日に、出店者二名により盆花販売を行いました。出店者が年々少なくなり、今後は継続を検討したいと思っています。



三、農産物等の栽培支援について

二十七年度からの原木椎茸栽培を、生産者二組三名の人数で継続実施しています。昨年二月に講習会と植菌を行い、七月に仮伏せ、今年一月に本伏せと養生を行いました。今後収穫し販売していく予定です。大量の収穫を期待しています。

今年度から、玉葱栽培を手掛けました。九月に講習会を行い、十一月に二万本の苗を五名の方に生産者としてお願いしました。これも大量収穫され販売へ繋がりますよう期待しています。

四、畦畔管理の負担軽減について

上の名地内で実施しました。五月に薬品散布、六月に散布後状況の現地研修、十月には取組報告会を実施しました。検討の結果この事業は、今回で打ち切りとします。

五、ふるさと小包便について

小包便の発送を夏冬二回実施しました。其々に六十箱ずつ発送することが出来ました。以前は、夏冬共に百箱発送していましたが、年々数が減量しています。今後益々皆様の注文が少なくないれば、この事業の継続も検討していかねばならないと考えています。

歴史ガイド部会

部会長 岡村 昌好

歴史ガイド部会の活動について、記してみようと思う。

①間地峠の草刈(二部地区)

②出雲街道道標の管理への協力

③歴史ガイドブック及び法被の作成

④二部地区三十三番札打ち地蔵の調査

⑤間賀の滝、鎌倉山の踏査

⑥その他視察受け入れ等

盛りだくさんの事業を行った。特に印象深く残っている二部地区三十三番札所めぐりと、鎌倉山の踏査について、記してみる。

この二部地区内に三十三番札所がある事を皆様御存じでしょうか。この村は昭和八年三月に出来、発願主は、長龍寺十五世恵仙和尚、副願主、傳燈寺十五世秀賢碩和尚である。昭和初期の経済不況の折、住民の多くが伯耆札や出雲札の札打ちに出る事が経済的に困難との事で、当時の二部地区内に、三十三ヶ所の観音像を勧請する事を思いたち、個人又部落から寄進を得て、西国三十三番札所にならって、作像したものである。一番札所長龍寺出發、なれぬ経を唱えながら、留は傳燈寺、三時間あまりの苦行であった。途中茶菓等の接待

を受けた皆様に、感謝申し上げます。

次に鎌倉山踏査、六月七日実施について、案内人、南部町奥山氏と、福岡安達哲也氏にお願いし、一行十名、鎌倉山にもれび広場で奥山氏と合流、古戦場跡、又千人塚等の説明を受けた後、登山をはじめ。登山道は整備され、登りやすく頂上(七三三)に到着。時間半あまりの行程であった。頂上付近は草木がおいしげも、遠くに日本海を望む事もできた。山頂にて昼食をとり、服後福岡にむけ道なき道の下山道に挑戦。案内人の先導により、我々は歩いて歩くのが精一杯。山をおり小川に沿い林道にたどりつく。安住山荘に到着。二時間半程の下山であった。安住山荘では、高価な紅茶や、スープを御馳走になり、無事帰途に着く。奥山、安達両氏に、紙面をおかりしお礼申し上げます。



ファンクラブ部会

部会長 西村 康平

二部地区活性化推進機構は今年度の事業方針として、ファンクラブ部会を中心として二部を知ってもらうことを目標とし、地域内外との交流に力を入れていくことが決定されました。その方針に則り、5つの主要事業を計画したところです。

しかしながら目玉事業として位置付けていたハロウィンイベントにおいては天災により実施することが叶いませんでした。また他の事業も芳しいものではありませんでした。来年度以降も引き続き、「交流」をキーワードに事業を展開して二部地区のファンを増やせればと思いますので、皆様のご協力とご参加をお願いいたします。



住みよい環境部会

部会長 浅田 恵美子

住みよい環境部会は二十八年度より、趣味と生きたい部会と福祉ボランティア部会が一緒になり沢山の事業をこなしていかなければならなくなりました。

事業を上げてみますと、道路河川の清掃、外来種の駆除、不法投棄防止看板の巡視維持管理、たたらまつりへの協力、菊づくり支援、菊花展の開催、花壇作り、高齢者障がい者への活動支援、友愛訪問の実施などが上げられます。

しかしこれらを上げて見てもどれも大切であり除外することができないと思います。地区内の道路河川周辺のゴミ拾い、地区周辺の外来種を駆除する。看板設置後の状況を確認し維持管理を行う。菊づくりへ協力し菊花展を開催する。二部公民館内の花壇に花、菊を植え来館者等に楽しんで頂く、伯耆町社会福祉協議会からの依頼で野外活動ボランティアを行う。おもてなし弁当及びクリスマスプレゼントを配るなどしています。

この内の外来種(オオキンケイギク)の駆除には大変びつくりしました。軽トラいっぱい(ゴミ袋三十四袋)の外来種の駆除する花はきれいで取ってしまうにはもったいないような花でした。しかし

根はどこまでも続いており、この花の生命力にはびつくりしました。やっぱり駆除しなくてはいいけない花だと思っています。

また、おもてなし弁当は八十才以上の二人住まいの方への配布です。大変喜ばれています。



今年の二部公民館まつり

平成二十九年二月二十五日から三日間、第三十三回のたたらまつりが開催されました。

例年たたら会館の二階は公民館活動の教室部門展示や、地域有志の作品発表の場です。

出展者のみなさんの多彩な英知が集約された展示となりました。二階では、「二部谷の昔のくらし」展が催され、来館者の皆さんは、なつかしさや思い出話にと、なごやかさが会場にただよっていました。また、長く二部公民館をされていた「安達允さん」の訃報に接し、「安達允氏を偲ぶ」のコーナーも急きょ設けました。このたたらまつりに多大な功績をいただいた感謝を示したいという実行委員会の特別な思いを込めた展示も実施しました。

今年も天候にも恵まれ、公民館前広場での販売イベントも大変賑やかで、この二部地域に根差した公民館文化展となりました。



活動日誌

〈月日〉 〈内容〉

四月一五日	タケノコ集荷開始
四月二〇日	委員総会
四月二二日	ドーム菊苗配布
五月二八日	外来種駆除
六月 四日	友愛訪問(おもてなし弁当)
六月 五日	健康ウォーキング
六月 六日	高齢者障がい者支援
六月 七日	鎌倉山踏査
六月一三日	出雲街道道標管理
六月一六日	ジャンボ力ボチャ苗配布開始
六月一八日	畦畔管理負担軽減現地説明会
六月二二日	歴史視察受入
六月二四日	間地峠草刈
七月 三日	カローリング大会
七月 七日	農産物集荷開始
七月 九日	不法投棄防止看板管理
七月二二日	区長協議会視察参加
七月二〇日	ふるさと小包便発送
八月 一日	歴史視察受入
八月 五日	福助菊苗配布
八月一〇日	野上川の風発行
八月二一日	盆花販売イベント
八月二六日	歴史講演会

〈月日〉 〈内容〉

九月 六日	たまねぎ栽培講習会
九月二五日	グラウンドゴルフ大会
一〇月 二日	町民運動会二部地区大会
一〇月一三日	札打地蔵調査
一〇月一四日	高齢者障がい者支援
一〇月二二日	畦畔管理負担軽減取組結果報告会
一〇月二九日	河崎公民館まつり出展(二日間)
一一月 四日	歴史ガイド部会現地研修会
一一月一一日	菊花展(三日間)
一一月一三日	一斉清掃
一一月一七日	秋の賞味会
一一月二七日	たまねぎ苗配布
一一月二九日	奥日野ガイド倶楽部イベント協力
一二月一八日	先進地視察
一二月 九日	高齢者学級歴史ツアー
一二月二六日	ふるさと小包便発送
一二月二二日	友愛訪問(クリスマスプレゼント)
一月二二日	円陣の会事例発表交流会参加
二月二五日	たたらまつり(三日間)

